

平成28年1月24日

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会
会員の皆様へ

《2月度農場便り》

「ハウス倒壊 一から出直し」

自然の持つ力、それも熟知している雪により育苗用ハウス、倉庫用ハウス2棟が倒壊してしまいました。先週16、17日と実践スクールを予定通り済ませて葦崎の自宅に3日ぶりに帰宅、18日早朝葦崎は大した雪ではなくいつも通り大泉の農場に向かいました。須玉インター近くから大渋滞、旧道を迂回してさらに先の国道に出ましたが暫く車は順調に進みましたがまたもや渋滞、道路の状況も雪が深くなり引き返しを判断、自宅の周辺の除雪後再度農場実向かいました。予想通り国道の除雪も進み昼過ぎに農場に到着。但し農場への進入路は50cmほどの積雪で通行不能、止む無く近くの蕎麦屋藤の家さんに駐車させてもらい除雪開始です。その時藤の家の息子さんからハウスが倒壊しているよと言われ瞬間頭は真っ白に、即我に返り無心に除雪です。息子さんも応援してくれ1時間ほどで駐車場まで除雪完了、助かりました。研修生國武君、小沢さんからは車がメイン道路まで出られないとのことで農場には行けないとの電話。覚悟を決め、遅い昼食後先ず駐車場の3台分のスペース確保16:00過ぎに完了。いよいよハウスへの通路の除雪です。焦る気持ちを押え17:30過ぎにようやく到達、無残な姿に今まで7年間の苦労が水泡に帰したかと無念やるせない思いがよぎりました。気を取り直し明日からの作業の段取りを考え乍ら車の明かりを頼りに19:00まで駐車場の除雪を続けました。翌19日は倉庫用ハウスの田植機、マルチャー等が下敷きになっていることを確認、その後は夕方まで育苗用ハウスの倒壊した屋根の除雪を行いました。取り敢えず稲苗用育苗土の山、踏込温床まで除雪が完了しました。こちらは被害が無く一安心。20日は店舗前の除雪を研修生の國武君、金精軒さんから出向で応援に来てくれている小沢さんをお願い、小生はハウスの見積依頼のための作業、22日までに農場、店舗の出入り及び作業可能なスペースを除雪確保、取り敢えず育苗用ハウスの屋根の除雪及び資材の撤去も完了、25日からは倉庫用ハウスの除雪です。倒壊ハウス2棟を解体後先ずは育苗用ハウスの再建です。1日も早く施工しないと春からの稲苗、野菜苗の育苗が出来ません。23、24日は以前から参加予定していた自然栽培の研修があり迷いましたが除雪等一段落着いたこともあり上京しています。この農場便りもビジネスホテルでまとめているところです。ハウスの資材は発注から2週間はかかるとのこと、使える部材を拾い出し自前で再建することで出来る限り少ない費用での再建を試みます。それも先が見えないと発注が出来ません。この7年間皆さんのご支援で大過なく順調に農を営んでこられました。こうして難局に直面してみると本当に有難いことと感謝せずにはられません。ともあれ、今までに一度ならず窮地の試練を受けてきていますが「又か」との思いです。しかし春に向けての歩を止める訳にはいきません。年明けから思わぬ災難を背負ってのスタートとなりました。何としても出

直す覚悟でいます。一日も早く再建してお米、野菜の苗づくりを確実に2月下旬から行えるよう頑張る所存です。会員の皆様にご迷惑をお掛けするかと思いますがご理解のほど宜しくお願い申し上げます。自然界の持つ力は侮れません。このところ厳しい寒さが続いています。ご自愛ください。

・倒壊した育苗ハウス（1月19日）

・育苗ハウス内部（1月19日）



・屋根の除雪、解体完了。右奥踏込温床、右手前発酵中の稲用育苗土（1月22日）



ご冥福

・倉庫用ハウス内部、田植機下敷（1月20日）

・グラインダーでパイプ切断（1月25日）



メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

携帯080-3080-3017